

授 業 目 名	疾患別理学療法Ⅷ(スポーツ障害)	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	平塚 将嗣、藤井 祐樹、池田 卓矢、	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 スポーツ傷害の理学療法は、特別な分野でなく理学療法の中の極一部にしか過ぎない。従って、他の分野における理学療法の考え方もよく理解した上で、それらを応用出来る知識や技術を身に付ける。特に臨床運動学や整形外科学などの知識を応用し、スポーツ全般の障害像をとらえる事を目的とする。</p> <p>〔学習目標〕 スポーツ傷害の発生要因やスポーツ傷害部位別に代表的な症状を理解し、アスレチックリハビリテーションにとって何が重要かを考える。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	スポーツリハビリテーションの概要		〔平塚〕
第 2 回	スポーツによる疲労骨折のメカニズム		〔平塚〕
第 3 回	トレーニングと栄養摂取について、スポーツ現場での緊急時の対応		〔平塚〕
第 4 回	整形外科的検査①(演習)		〔平塚〕
第 5 回	整形外科的検査②(演習)		〔平塚〕
第 6 回	PBL 肩峰下インピンジメント障害①		〔池田〕
第 7 回	PBL 肩峰下インピンジメント障害②		〔池田〕
第 8 回	スポーツ障害 評価(柔軟性、可動域、筋力)		〔藤井〕
第 9 回	スポーツ障害 評価(スタティックアライメント・ダイナミックアライメント)		〔藤井〕
第 10 回	各論①肩・肘:投球障害(骨軟骨障害、内側側副靭帯損傷、etc)		〔藤井〕
第 11 回	各論②膝:前十字靭帯損傷		〔藤井〕
第 12 回	各論③肩:肩関節脱臼		〔藤井〕
第 13 回	各論④足部:足関節捻挫		〔藤井〕
第 14 回	テーピング(演習)		〔藤井〕
第 15 回	テーピング(演習)		〔藤井〕
評 価 方 法	期末試験にて評価します。(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 なし</p> <p>〔参考図書〕 図解スポーツ障害のメカニズムと予防のポイント 文光堂 アスレチックリハビリテーション～競技復帰までのプログラミング～ 南江堂 理学療法MOOK9 スポーツ傷害の理学療法</p>		
履 修 上 の 留 意 点	授業はスライドとビデオ、および実技デモンストレーションにて行います。また、教科書は特に定めないので、授業にはノートを用意してください。		
メ ッ セ ー ジ	講義の中では、アスレチックリハビリテーションを考えると同時に、他の分野から応用されていることや他の分野へ応用できることが多々あると思います。その中で、健康医学や予防医学の分野への関心が深められるようになってください。		